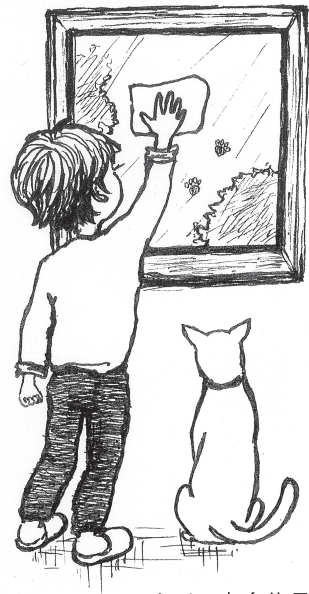


第395号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



幸せを求めて



カット：本多紘子

あわただしい年の瀬となりました。街路樹も寒風に身を震わせているようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この冬はインフルエンザの流行や新型コロナウイルスの第8波の感染流行も心配です。歳末商戦も物価高で盛り上がり欠け、庶民としては寂しいですね。

一昨年から今年に懸けての約3年間、新型コロナウイルスの感染流行が多く、死者を出し、世界中を混乱させています。早急に開発されたコロナワクチンですが、副作用もありワクチン接種を拒否する人や後進国の人にワクチンの供給が無く接種が遅れる地域もあり、次々と新型コロナウイルス変異株が流行し、世界中で感染流行が治まらないのは残念です。人の交流が早く回復しないと精神的にも経済的にも苦しいですね。

今年一番の驚きは2月24日に、ロシア軍が隣国のウクライナに軍事侵襲したこと。ロシアのプーチン大統領が安易な作戦で臨んだために、西側諸国に軍事援助されていたウクライナ軍の抵抗にあい、4月1日に首都キーウから撤退しました。しかし、ウクライナ東南部は、何としてでもロシア領として奪取したいと死守しています。ロシアは多くの軍人が死亡し、今はミサイルやドローンによって、ウクライナの各都市の民間施設である発電所やガス供給所を攻撃しています。美

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に電話下さい。

しかったウクライナの都市を破戒し尽くすまで、ロシアが軍事侵襲をやめないならば、ウクライナもロシアも地獄となりますね。

「地獄・極楽、この世にあり」とか、「火の車、造る大工は無けれども、己が造りて己が乗り行く」という文言がありますが、「地獄」という言葉は、仏教から出てきた言葉です。インドで落ちると言うことをナラカと言ひ、漢字で「奈落」と書き、後に「地獄」と翻訳されました。突然、まっ暗い穴に逆さまに落ちていくような苦しみや悲しみを地獄の世界と表現したのです。

愚僧も今年の11月3日で満74歳を迎えましたが、お盆過ぎから少し疲れがとれず、医者に診て貰うと不整脈がわかり、11月14日から3日間入院しました。心房細動の治療で、高周波を用いたカテーテルアブレーションと言われても、入院手術はまっ暗い穴に逆さまに落ちるような不安を感じ、地獄でした。しかし、初めての手術も無事に終わって、地獄から解放されたような気分です。

人間は幸せを求めて生きており、地獄の世界に落ちるような行為や生き方はなるべくしたくないものです。それなのに便利さや物の豊かさを追求すれば追求するほど、人間の苦しみや悲しみが増えていくのは何故なのでしょう。「極楽」とは五欲の満たされるところと勘違いしている人が多い。五欲とは財産欲・色欲・食欲・名譽欲・睡眠欲の五つの欲望のことです。何かを満たされても、何か不足するのは当たり前で、「極楽」とは欲望の世界ではありません。人と人が支え合い、助け合う世界こそが「極楽」と呼ばれるのですよ。

10月29日午後10時頃、韓国ソウルの繁華街・梨泰院でハロウィーンイベント中に、幅約3m、長さ約40mの坂になっている路地で、身動きがとれないほど密集した人たちが折り重なって倒れ、156人が死亡しました。このなかに日本の若い女性2人が含まれました。これが天国から地獄の悲しみの世界に落ちると表現されるのかな。華やかな欲楽の世界は、地獄に一番近いのかも…。合掌(奥原 曇龍)

『華やかな極楽世界を求めても 妬みや嫉妬で地獄あるだけ』 どんりゆう



カット：奥原綾

ともしび説法

日時・十二月 九日「金曜日」 午後一時半から四時まで。

「歎異抄(たんにしょう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 74

仏教の開祖、お釈迦様は今から二千五百年前にインドで活躍された方です。

29歳の時に出家し、6年間の厳しい修行の上に35歳で成道(覚りを開く)され、仏教の教えを伝える布教に力を注ぎます。

当時インド第一の強国であったマガダ国での布教も、首都王舎城には「人間の生きる意味・死んでいく意味」を真剣に考える自由な思想家達が多くいたので、仏教が受け入れられ、弟子達も増え、仏教教団が出来ます。

お釈迦様が有名になり、インド第二の強国であるコーサラ国のスダッタ(給孤独)長者の願いによって、コーサラ国に仏教の布教をお願いされましたが、困難を極めます。

コーサラ国王のパセーナデイ(波斯匿)は、インドで最大の領土を有していたが、宗教に関しては形式的儀礼的に大きな祭礼をして、バラモンに土地や財産を与えて、自分の権威を保っていただけです。沙門(出家者)に対しても、同様に寛容な姿勢や態度を示したので、諸宗教の勢力は外形的にマガダ国に劣らず隆盛でした。それだけに、新興の宗教であるお釈迦様の仏教が、コーサラ国に広まることを恐れたバラモンや古い沙門の教団の人たちから、強い反感や嫌悪で蔑視されます。

しかし、この国王を仏教の信仰に導いたのは、王妃のマツリカーであった。彼女も最初には他の異教徒にも庇護を与えたが、のちに仏教の熱心な信者となり、機会あるごとに、国王を仏教信仰に向けようと努力しました。

ある時国王は、睡眠中に16の不思議な夢を見ました。王は早速、不吉の夢かとバラモンに相談すると、王の国土・生命・財産のいずれかを失う前兆であると進言し、城外に大祭壇を築き、多くの供物を捧げよと言います。

王妃のマツリカーがお釈迦様に相談に行くのと、遠い将来のことであるから心配ないと、「今を大切に」と語ります。合掌(奥原曇龍)

除夜の鐘悲しみ苦しみ包みつつ 心に響く慈悲のともしび 田辺多恵子



11月3日 心光寺 秋の報恩講法要にて

ともしび法話

もう師走、なにかと気ぜわしい季節となりました。皆様お元気でしうか。新型コロナの第8波の流行も心配なことですが、お寺も秋の法要が無事に終わりました。年末や新春の準備に取りかかっています。皆様、心光寺の行事に気軽に参加下さい。

11月3日、親鸞聖人を偲ぶ心光寺の秋法要も無事に終わり、ホッとしています。人と人が気軽に逢い、日頃のことを楽しく語り合える場としてのお寺、心の雨宿りの寺として、今後も頑張ってください。 倉敷市藤戸天城 福原 浩子

【除夜の鐘】のお知らせ

十二月三十一日大晦日の午後二時半より法要後の三時から四時まで鐘を撞きます。深夜の「除夜の鐘」ではなく、夕方に鐘を撞くのは平成三十年から五回目です。心光寺の檀家以外の人も、駐車場が広いので、気軽に参拝し鐘をならして下さい。

ともしび説法

日時・十二月 九日「金曜日」 午後一時半から四時まで。 「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 一月 一日(日)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
- 二月 十日(金)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
- 三月 十日(金)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

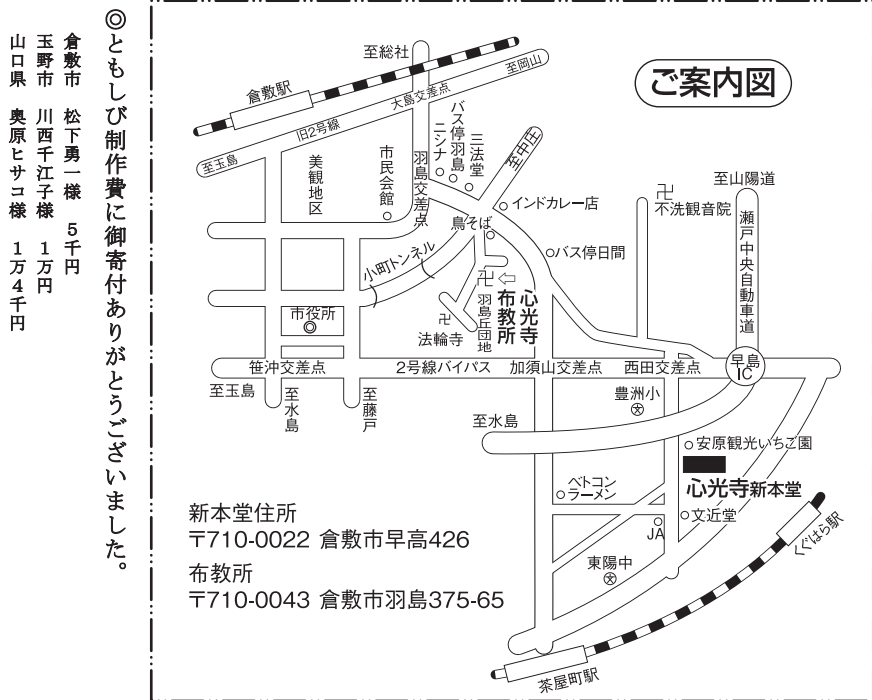


こころの詩

師走がやってきた 早くも一年が過ぎゆく ひととして悔いなく生きたいと 踏まれても傷つけられなくても 平気の顔でごまかす 本心に生きることは厳しい 除夜の鐘を静かに聞こう



カット:吉岡美枝



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「395号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。 合掌 心光寺 総代長 本家豊彦